平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年11月９日

上 場 会 社 名　　株式会社うかい　　上場取引所　　大
コ ー ド 番 号　　7621　　URL　http://www.ukai.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　大工原　正伸
問合せ先責任者　（役職名）　取締役管理本部長　　（氏名）　潮　一生　　(TEL) 042-666-3333

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月13日
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：有　（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	5,759	1.4	180	△42.0	127	△49.5	52	△58.7
24年３月期第２四半期	5,681	―	310	―	253	―	127	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	10.72	10.68
24年３月期第２四半期	25.98	25.89

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	11,987	3,891	32.2
24年３月期	12,134	3,886	31.7

(参考) 自己資本　25年３月期第２四半期　3,856百万円　24年３月期　3,852百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	―	0.00	―	10.00	10.00
25年３月期	―	0.00			
25年３月期(予想)			―	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,610	△0.1	373	△34.8	278	△40.8	124	△60.2	25.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　有

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	5,229,940株	24年３月期	5,229,940株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	304,356株	24年３月期	306,356株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	4,923,650株	24年３月期２Ｑ	4,923,588株

（注）期末自己株式数には、従業員持株ＥＳＯＰ信託口が所有する当社株式数122,600株を含めております。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・　2

（１）経営成績に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・　2
（２）財政状態に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・　3
（３）業績予想に関する定性的情報　・・・・・・・・・・・・・・・・　3

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項　・・・・・・・・・・・・　4

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　・・・・・・・　4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示　・・・　4
（３）追加情報　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

３．四半期財務諸表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

（１）四半期貸借対照表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5
（２）四半期損益計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　7
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書　・・・・・・・・・・・・・　8
（４）継続企業の前提に関する注記　・・・・・・・・・・・・・・・・　9
（５）セグメント情報等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記　・・・・・　9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要等によりゆるやかな回復傾向にある一方、世界景気の更なる下振れや金融資本市場の変動等を背景として景気回復の動きが足踏み状態であることに加え、デフレの影響や個人消費の停滞感が払拭されぬまま推移しております。

外食産業におきましても、エネルギー単価の高騰や増税など生活防衛意識によるマインドの低下への懸念や食の安全・安心に対する消費者の関心の高まりなど、取り巻く環境は厳しい状況にあります。

こうした経営環境の下、当社は基本理念である「利は人の喜びの陰にあり」の理念や精神をぶらすことなく「うかいの心と技」の更なる追求をしていくとともに、社会的責任における企業使命として「食を通じて心を豊かにする」をミッションに掲げ、お客様に求められる新たな価値創造を行っていける店づくりを推進してまいりました。

当第２四半期累計期間においては、今まで培ってきたブランドを更にみがき、新たな挑戦をしていくために、既存店の強化と中長期的な人材の育成に注力してまいりました。組織的な動きとして、５月18日には東アジアを重点市場にブランド戦略のグローバル化を目的に「海外戦略室」を設置、また９月12日には業務効率の最適化および機動的な業務遂行の実現を目的に、営業本部内の再編成を行いました。

業績面につきましては、当第２四半期累計期間では売上高5,759百万円（前年同四半期比1.4％増）の増収となりました。利益面に関しては、パート・アルバイト等の人件費が増加したこと、消耗品や修繕費等が見込みよりも増加したことに加え、エネルギー単価の高騰により水道光熱費が増加した結果、営業利益180百万円（同42.0％減）、経常利益127百万円（同49.5％減）、四半期純利益52百万円（同58.7％減）となりました。

セグメントごとの業績の状況を示すと次のとおりであります。

〔飲食事業〕

和食事業は、東日本大震災の影響で昨年４月に来客数が減少したことによる反動に加え、継続的なイベント等が好評だったこともあり、来客数・客単価ともに増加し、売上高2,767百万円（同3.4％増）となりました。

洋食事業では、来客数は増加したものの客単価の減少により、売上高2,329百万円（同1.6％減）となりました。商品売上の減少と接待需要の減少、特に郊外店での影響は大きく、夜から昼へ集客がシフトしたことにより、客単価が減少いたしました。

その結果、飲食事業としては売上高5,097百万円（同1.0％増）となりました。

〔文化事業〕

箱根ガラスの森では、４月20日より開催している特別企画展「煌めくヴェネチアンビーズ展」が好評であり、多くの新聞・雑誌等に取り上げられるなど話題を集め、集客に寄与した結果、売上高661百万円（同4.0％増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期累計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ146百万円減少し、11,987百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の増加120百万円、売掛金の減少63百万円、有形固定資産等の減少155百万円、繰延税金資産等の減少47百万円等によるものであります。

（負債）

当第２四半期累計期間末における負債は、前事業年度末に比べ150百万円減少し、8,096百万円となりました。主な要因は、有利子負債の減少96百万円、買掛金の減少34百万円、その他流動負債の減少34百万円等によるものであります。

（純資産）

当第２四半期累計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ4百万円増加し、3,891百万円となりました。主な要因は四半期純利益52百万円、剰余金の配当による減少49百万円等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ120百万円増加し720百万円（前年同四半期比84.5％増）となりました。

当第２四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は363百万円（同28.6％減）となりました。主な要因は、税引前四半期純利益120百万円、減価償却費263百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は75百万円（同56.9％減）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得92百万円、無形固定資産の取得17百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は166百万円（同78.0％減）となりました。主な要因は社債の償還、借入の実行・返済により有利子負債が純額で115百万円、配当金の支払い49百万円等の支出があったためであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期業績につきましては、平成24年３月期決算短信公表時（平成24年５月18日付）の予想を修正しております。詳細は本日公表しました「平成25年３月期第２四半期累計期間の業績予想値との差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項ありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これによる財務諸表に与える影響は軽微であります。

（３）追加情報

（従業員インセンティブ・プラン「従業員持株ＥＳＯＰ信託」における会計処理）

当社は、平成24年８月９日開催の取締役会決議に基づき、当社の成長を支える従業員に対する福利厚生制度をより一層充実させるとともに、株価上昇へのインセンティブを付与することにより、当社の業績や株式価値に対する従業員の意識を更に高め、中長期的な企業価値の向上を図ることを目的として、従業員インセンティブ・プラン「従業員持株ＥＳＯＰ信託」の導入をしております。

本プランでは、「うかい社員持株会」（以下「当社持株会」という。）へ当社株式を譲渡していく目的で設立する「従業員持株ＥＳＯＰ信託口」（以下「ＥＳＯＰ信託口」という。）が、平成24年９月以降５年間にわたり当社持株会が取得する規模の株式を予め一括して取得し、当社持株会へ売却を行います。

当社株式の取得及び処分については、当社がＥＳＯＰ信託口の債務を保証しており、経済的実態を重視し、当社とＥＳＯＰ信託口は一体であるとする会計処理を採用しております。従って、ＥＳＯＰ信託口が所有する当社株式を含む資産及び負債並びに費用及び収益については、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び四半期キャッシュ・フロー計算書に含めて計上しております。このため、自己株式については、ＥＳＯＰ信託口が所有する当社株式を自己株式に含めております。

なお、平成24年９月30日現在においてＥＳＯＰ信託口が所有する自己株式数は122,600株であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	600,210	720,971
売掛金	385,106	321,437
商品及び製品	140,906	149,729
原材料及び貯蔵品	264,797	260,518
繰延税金資産	62,821	55,373
その他	150,902	185,892
貸倒引当金	△164	△136
流動資産合計	1,604,580	1,693,785
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,992,900	9,010,670
減価償却累計額	△4,490,986	△4,641,986
建物（純額）	4,501,913	4,368,683
土地	2,406,750	2,406,750
建設仮勘定	1,270	22,840
美術骨董品	1,080,579	1,078,721
その他	3,204,719	3,236,674
減価償却累計額	△2,351,584	△2,429,449
その他（純額）	853,135	807,224
有形固定資産合計	8,843,649	8,684,220
無形固定資産	107,307	111,335
投資その他の資産		
投資有価証券	26,126	23,353
繰延税金資産	379,567	339,217
敷金及び保証金	987,887	988,028
その他	185,166	147,721
投資その他の資産合計	1,578,747	1,498,320
固定資産合計	10,529,704	10,293,876
資産合計	12,134,284	11,987,662

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,401	232,075
1年内償還予定の社債	450,000	387,500
短期借入金	50,000	－
1年内返済予定の長期借入金	1,960,749	1,969,731
未払法人税等	28,703	31,965
賞与引当金	88,239	90,593
その他	696,324	665,486
流動負債合計	3,540,417	3,377,351
固定負債		
社債	600,000	615,000
長期借入金	3,231,399	3,218,026
退職給付引当金	689,254	702,775
資産除去債務	114,228	115,507
その他	72,115	67,769
固定負債合計	4,706,996	4,719,078
負債合計	8,247,414	8,096,429
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,291,007
資本剰余金	1,836,412	1,836,412
利益剰余金	1,282,643	1,285,406
自己株式	△563,140	△559,463
株主資本合計	3,846,922	3,853,362
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,256	3,178
評価・換算差額等合計	5,256	3,178
新株予約権	34,691	34,691
純資産合計	3,886,870	3,891,232
負債純資産合計	12,134,284	11,987,662

（２）四半期損益計算書
第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	5,681,409	5,759,331
売上原価	2,614,209	2,671,007
売上総利益	3,067,200	3,088,323
販売費及び一般管理費		
販売促進費	124,446	159,238
役員報酬	83,311	98,340
給料及び手当	904,520	979,936
賞与引当金繰入額	65,197	52,502
退職給付費用	24,297	27,065
福利厚生費	156,616	156,279
水道光熱費	96,675	108,364
消耗品費	81,572	93,614
修繕費	80,018	93,073
衛生費	100,327	103,235
租税公課	68,615	53,875
賃借料	351,725	347,930
減価償却費	186,861	191,058
その他	432,145	443,646
販売費及び一般管理費合計	2,756,331	2,908,160
営業利益	310,868	180,163
営業外収益		
受取利息	2,524	2,545
受取配当金	309	309
保険解約返戻金	3,195	0
保険配当金	3,668	－
受取手数料	2,366	2,250
その他	4,890	5,799
営業外収益合計	16,954	10,904
営業外費用		
支払利息	61,009	50,717
社債利息	5,018	3,738
その他	8,647	8,786
営業外費用合計	74,674	63,242
経常利益	253,148	127,824
特別損失		
固定資産除却損	4,903	7,599
台風による災害損失	4,746	－
特別損失合計	9,650	7,599
税引前四半期純利益	243,498	120,225
法人税、住民税及び事業税	7,075	18,937
法人税等調整額	108,496	48,493
法人税等合計	115,571	67,430
四半期純利益	127,927	52,794

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	243,498	120,225
減価償却費	263,600	263,317
固定資産除却損	4,903	7,599
台風による災害損失	4,746	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	16,478	13,521
受取利息及び受取配当金	△2,833	△2,854
支払利息	66,027	54,456
保険解約返戻金	△3,195	△0
売上債権の増減額（△は増加）	△123,522	63,669
たな卸資産の増減額（△は増加）	△35,378	△4,544
仕入債務の増減額（△は減少）	66,260	△34,326
未払消費税等の増減額（△は減少）	17,673	△10,393
その他	61,458	△46,705
小計	579,717	423,964
利息及び配当金の受取額	209	347
利息の支払額	△56,815	△46,669
法人税等の支払額	△14,150	△14,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	508,961	363,492
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△141,385	△92,250
その他	△34,803	16,257
投資活動によるキャッシュ・フロー	△176,188	△75,993
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	300,000	△50,000
長期借入れによる収入	200,000	1,080,000
長期借入金の返済による支出	△982,326	△1,084,391
社債の発行による収入	－	197,007
社債の償還による支出	△238,500	△247,550
配当金の支払額	△24,668	△49,501
その他	△12,106	△12,301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△757,601	△166,737
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△424,828	120,761
現金及び現金同等物の期首残高	815,579	600,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	390,750	720,971

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

前第２四半期累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,045,337	636,072	5,681,409	－	5,681,409
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,045,337	636,072	5,681,409	－	5,681,409
セグメント利益	671,020	57,816	728,836	△417,968	310,868

（注）１．セグメント利益の調整額△417,968千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第２四半期累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期損益計算書計上額（注）２
	飲食事業	文化事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,097,713	661,617	5,759,331	－	5,759,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	5,097,713	661,617	5,759,331	－	5,759,331
セグメント利益	534,908	86,215	621,124	△440,961	180,163

（注）１．セグメント利益の調整額△440,961千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。